

杉山あつしだより

皆さんの声を県政に！



発行者：杉山あつし（静岡県議会議員）
第6号（2020年10月30日発行）

静岡市駿河区泉町1-12-202
電話 054-204-1098 FAX 054-204-1099

ごあいさつ

地元静岡を 誰もが安心して暮らしやすいまちに

皆さんからの
ご意見・ご提言を
お待ちしております



静岡駅構内(9/14)

3月以降コロナウイルスの感染拡大により私たちの生活は大きく様変わりしつつあります。一時感染は落ち着きましたが、7月末から再び拡大し、静岡県でも感染者が500人を超える事態となりました。コロナ対策の県補正予算は5回にわたり編成され、補正総額1188億円となりました。静岡市内も飲食店中心にお店の廃業、撤退が目立ってきました。

また、この夏は猛暑が続き、浜松市では8月17日に41.1度の全国一位タイの気温が観測されました。近年は気候変動による水害も深刻化しています。静岡市河川課、下水道維持課に出向き、多くの市民の皆さんより要望が寄せられている「河川の水害対策、大谷川放水路周辺貯水池の状況確認」を行いました。

「世の中を少しでも良くしていきたい」という初心と、駿河区の皆さんから託された12,804票の重みを忘れず、議員としての役目を果たすべく、今後もしっかりと政治の場で仕事をしてまいります。皆さんからのご意見・ご提言をお待ちしています。

静岡県議会議員 杉山あつし

●静岡県議会9月定例会開会

副委員長を務める産業委員会で

GOTOキャンペーン周知の県の関与
結婚業界の支援の有効性

再生可能エネルギー推進(抹茶ソーラー普及) について質問しました。

9月17日より県議会定例会が開会し、多くの議員がリニア中央新幹線問題、コロナ対策を取り上げ、県の対応について質問や要望が出されました。

10月1日に冠婚葬祭グループ富士葬祭・アルファクラブのサポーターの集いに参加。結婚式場業界は食材、花屋、美容業、貸衣装、ギフト、デザイン業など裾野が広い業界で、コロナ禍で苦労されている実態や式場での感染予防対策などについて直接お話を伺い、翌日の産業委員会で早速質問に反映させることができました。

主要テーマ

1. コロナ関連補正予算
2. 建設事業見直し
3. リニア問題



副委員長を務める産業委員会で質問

今更聞けない
コロナ関連用語
の解説

ソーシャルディスタンス
濃厚接触者
三密
パンデミック
クラスター
オーバーシュート
テレワーク
ウィズコロナ

社会的距離。感染防止のためにとる人との距離
1m程度で、予防策なしでの15分以上の接触者
感染防止のための3つの密(密集・密接・密閉)
感染症が世界中に大流行すること。
患者の集団のこと
爆発的な感染者の増加
テレ=離れた場所 ワーク=働く を合わせた言葉
コロナと共存する社会



●富士見小PTA資源回収に協力（9/26）

ほぼ一年間貯めていた新聞紙、雑紙を富士見小PTAの資源回収に出し協力しました。近年回収量が減っており、呼びかけにも協力していきます。リサイクルは静岡県が推奨する6R県民運動の中心です。



常盤公園にて

STOP!気候危機



●FFF静岡・世界気候アクションに参加（9/26）

大学生中心のFridays for future静岡 による世界気候アクション「シューズアクション」に参加。杉山は「石炭火力は時代遅れ、再生エネで温暖化を止めよう」とアピールしました。気候危機に関心を持つ若者が徐々に増えています。我々大人もしっかりと行動していきます。

●第3日曜日恒例・ごみゼロ・高松海岸清掃

9月20日8時から、高松海岸清掃活動に長女と参加。小さな発泡スチロールとビニールごみが多く、海洋プラスチックごみによる海洋汚染が問題視されている中、これら民間団体が行う活動への支援の必要性を再認識しました。リカバー(清掃活動への参加)も静岡県が推奨する6R県民運動のひとつです。



ごみゼロ 2022/9/20



旗持ちに参加
秋の交通安全運動

●秋の交通安全運動活動（9/23）

早朝より秋の交通安全運動・地元の駿河総合高校前での旗持ち活動に参加。小雨の中ですが、各自治会から5人ずつSBS通り駿河総合高校前の活動に参加しました。

●県交運労協(私鉄労組、運輸労連など)からの要請と意見交換（9/16）

交通関係の労組の集まり「県交運労協」からの要請を受け、労組の代表の方との意見交換に参加。不特定多数の乗客と接するバス運転手への随時PCR検査の公費実施、スマートインター整備で流れが変わった周辺道路の整備などの要請がありました。また、運転手のなり手が少なく、人材不足の実態についての説明もあり、これらの課題にも取り組んでいきたいと思えます。

●福島子ども支援募金活動（9/11）

年4回3ヶ月ごとの11日に静岡駅地下広場にて実施されている「福島子ども支援募金活動」に参加し、マイクで募金協力を訴えました。放射線量が高い地域に住む福島の子どもの健康対策を行う団体への募金です。福島原発事故から9年7か月を迎えましたが、日本はまだ放射能基準値を20倍に引き上げたまま、福島県内の小児甲状腺がんは245名と増え続けています。当日NHKの取材もありました。引き続き支援していきます。次回は12月11日11時30分からです。



原発事故はまだ
終わっていません



いい汗がきました!

●自治会活動の広場草取り参加（8/2）

町内会の広場草取りに妻、長女と参加。議員も自治会の会員。自治会活動へ積極的に協力していきます。

●山梨・静岡両県議会による「バイふじのくに」交流会（9/4）

富士山で縁の深い山梨県との観光交流として、知事同士の相互訪問や、県議交流を実施。正副議長と産業委員会のメンバーで山梨県を訪問。会場は果樹研究所のぶどう園。「フルーツ大国山梨」らしく、シャインマスカットの下での会議・意見交換会でした。今後の交流促進提案が出され、親交が深まりました。交流会後は単独で甲府駅前の山梨県立図書館を視察。静岡県立図書館の建替えを控え、利用者がとても多い図書館の特徴点などをお聞きしました。



●政策形成支援プロジェクト第2回会合（8/18）

市民と大学教員・研究者と共に「人権尊重・差別のない社会実現に向け、政策作りをするプロジェクト」

杉山からは、人権差別の課題での県の実態報告。
LGBT当事者から 啓発強化の政策要望
在日朝鮮人当事者から 朝鮮学校への外交問題からくる無償化対象外措置
などの問題提起をしていただきました。



県の多文化共生事業は在日朝鮮の方が外れて、ブラジル人中心の実態にある、人権差別の問題では啓発が重要
西日本では同和問題が人権差別課題の中心
子供の貧困は親世代の貧困から来ている など多くの実態が報告され、
対応に消極的な自治体もあり県が統一的に勧めていくのが合理的。
啓発のための講師派遣、管理者研修 などの対応策が必要との意見もあり、
政策として発信をしていきます。

●ご存じですか？静岡市雨水貯留タンク助成金

静岡市 雨水 補助金

検索

●静岡市河川課に大谷川放水路周辺貯水池の確認と要請（8/11）

●静岡市下水道維持課に水害防止・雨水タンクの補助事業の確認（8/13）

8月11日は静岡市河川課を訪ね、大雨時に大谷川や浜川への雨水の急激な流入を和らげ、水害防止のために貯水池を増設していることと今後の考え方を確認しました。



8月13日は静岡市下水道維持課を訪ね、水害防止での雨水を貯める雨水タンク設置の補助制度は浸水が身近に感じる巴川下流の清水区では普及していますが、駿河区では浸透していないことなどの説明を受けました。200リットルタンクで補助率3分の2、上限3万円です。下水道普及・設置の地域が対象です。

●公共事業の適切な契約ができる環境整備に向けて

●県議会・公契約条例案 検討委員会で会派を代表し質問



公共事業での良質な市場の形成、大手ゼネコンによる買いたたき防止、公契約による適正な発注、仕事を受ける業者への適正な請負額の補償を目指す「公契約条例」制定に向けた県議会検討委員会委員として、会派を代表し参加しています。8月7日の第2回は杉山が多くの時間をかけ、検討案の質問を行いました。9月9日の第3回は県と契約のある関係4団体からの意見聴取、ふじのくに会派推薦の連合静岡と全建総連の方にも参加いただきました。公共工事・事業の質の確保、働く方の労働条件向上に向け、会派代表としてしっかり対応していきます。

●高校生平和大使 川勝知事、木苗教育長への表敬訪問を先導（6/21）

高校生平和大使は平和団体が選考していますが、外務省がコース非核特使に任命し、国連軍縮本部（ジュネーブ）訪問が実現しています。静岡県からは平和大使を毎年1名、長崎派遣団としてプラス2人選考しています。3人とも知事、教育長の前で平和への想いと、平和大使に応募した決意などを立派に話してくれました。



知事室にて
高校生平和大使らと

総発電の23.1%が再生可能エネルギー（2020年上半期）瞬間的2030年の政府目標達成



コロナ禍で総発電量が減ったと言っても、確実に太陽光発電、風力発電が伸びています。石炭、天然ガスの輸入も減り貿易収支も改善。中部電力と東京電力のエリアは東日本大震災以降「原発ゼロ」が続いています。

編集後記

コロナ禍での行政の要望を聞く機会を増やしている。商店業者からは、地域共通クーポンやGOTO静岡商品券などいろいろな券が発行されるが、「手間がかかる、換金までに時間がかかる」として、二の足を踏む個人商店。12月までは営業するが廃業も視野に入れている。などの声も聞かれた。バス事業者からは、在宅勤務、自転車通勤奨励などでもうコロナ前の乗客は見込めない、でも相変わらず運転手不足は続いているとのこと。皆さんの声を行政にしっかり届け、対応を要望し続けたい。

東日本大震災後の福島原発事故で「大地震と原子力発電所が共存できない」ことを学んだ。静岡県（静岡県から四国沖まで）は東南海沖地震の震源域でもあり、原子力防災は重要課題です。東京電力も中部電力も震災直後からの9年半、原発ゼロで安定的な電力供給を続けており、すでに原発ゼロが実現しているエリアです。

太陽光発電の普及と省エネ技術の進歩が原発ゼロに貢献している。風力発電と合わせた再生可能エネルギーの増加は、化石燃料（石炭、天然ガス）の輸入減少となり、日本の貿易収支を改善させ経済効果も大きい。このことを伝え続けま

募集しています

- 街頭県政報告の際の旗持ちや、郵便物発送準備などの簡単なお手伝いをしてくださる方
 - ご自宅やお勤め先などに、杉山あつしのポスターの掲示をさせていただける方
 - 杉山あつしを囲むミニ集を開きたい！杉山あつしの話をもっと聞きたい！という方
- ご協力いただける方、ご要望、お問い合わせなどは、以下の事務所までお寄せください。

■杉山あつし事務所

静岡市駿河区泉町1-12-202
TEL:054-204-1098 FAX:054-282-0143
携帯電話:090-1279-1443

MAIL:info@sugiatsu.com

■静岡県職員組合（出身組合）

静岡市葵区追手町9-6県庁内
TEL:054-221-2186 FAX:054-221-3574

■杉山あつしの活動等は

公式HP・フェイスブック・ツイッターでご覧いただけます。



体調の管理には
お気をつけください

